



LIONBRIDGE

シスコ ネットワーキング アカデミーのケース スタディ

AI ポストエディットによる 多言語教育の拡大

1,500 万以上
ワード数

14
対応言語数

24
コース数

シスコ ネットワーキング アカデミー (Cisco の社会的責任に関するグローバルなイニシアチブ) は、テクノロジー教育を通じて人々の生活に変革をもたらすことを目指しています。Cisco との提携の有無にかかわらず、世界中の人々に IT 分野のトレーニングと就職の機会を提供します。このイニシアチブは、革新的な教育テクノロジー プラットフォームを通じて、ネットワーキング、サイバーセキュリティ、プログラミング、AI、データサイエンス、サステナビリティ、専門スキルに関する最先端のカリキュラムを、自習型のコースで提供しています。このプログラムは多様な言語に対応し、191 か国で 2,400 万人の学習者を支援しています。シスコ ネットワーキング アカデミーは、政府、学術機関、非営利団体と連携して教育機会を提供しています。

● お客様について

Cisco Systems, Inc. は、ネットワーキングハードウェア、ソフトウェア、通信機器を専門とするグローバルテクノロジー企業です。米国カリフォルニア州サンノゼに本社を置く Cisco は、統合ネットワークソリューションのトッププロバイダーでもあり、世界のインターネットの基幹通信の大部分は Cisco の機器やソフトウェアを経由しています。

● 課題

シスコ ネットワーキング アカデミーでは、迅速に変化する業界の要件を反映するために、コースカタログを継続的に更新・拡充しています。この取り組みにより、学習者は新しいテクノロジーを活用し、世界経済に公平に参加するために必要な実践的なスキルと深い知識を身に付けることができます。このイニシアチブの効果を最大化するにはローカリゼーションが不可欠です。ローカリゼーションは継続的なプロセスとして実施され、翻訳・調整された教材は多様な利用者にとって常に最新かつ効果的なものである必要があります。しかし、2032 年までにさらに 2,500 万人にサービスを提供することを目標として掲げるプロジェクトの規模に加え、コンテンツを迅速かつ費用対効果の高い方法で提供するという必要性も相まって、ローカリゼーションは大きな課題となっています。こうした要件のもとで、高品質のローカリゼーションを迅速に全地域と全言語で提供し続けることは容易ではありません。





解決策

Cisco はコースの対応言語を拡充するため、ライオンブリッジと提携し、AI ポストエディットを取り入れた AI 活用型の翻訳ワークフローを導入しました。この解決策には以下のプロセスが含まれます。

- ▶ 翻訳メモリ (TM) 分析 — 人間の手で翻訳されたこれまでに承認済みのセグメントから、100% のコンテキスト内完全一致 (ICE) を特定し、翻訳対象外とするために実施します。
- ▶ ニューラル機械翻訳 (NMT) — スピード向上、コスト削減、一貫性確保のために、その他のすべてのセグメントに適用します。
- ▶ LLM 活用型 AI ポストエディット — NMT の出力を修正・改善するために使用します。
- ▶ コンテキスト内機能テスト — 人間のテスターが実施し、複雑な言語には特に注意を払います。



結果

自動ポストエディットの活用により、シスコ ネットワーキング アカデミーは、わずか 3 か月で 1,500 万語以上を 14 の言語に翻訳し、24 ものコースに対応することができました。これまでは翻訳がボトルネックとなっていました。このアプローチによりボトルネックは機能テストとステージングへと移行し、大幅な効率化を実現できました。この作業はすべて 7 万ドルで完了し、従来の手法と比較してコストも大幅に削減されました。ポストエディットに LLM を活用することで、Cisco はコンテンツを複数の言語で同時にリリースできるようになり、英語版とローカライズ版のリリースのタイムラグが大幅に短縮されました。これにより、コースの利用が拡大し、世界各地からアクセスが集まるようになりました。



対応言語

- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| ▶ アラビア語 | ▶ タイ語 | ▶ ポーランド語 | ▶ スペイン語 |
| ▶ 日本語 | ▶ フランス語 | ▶ ルーマニア語 | ▶ ポルトガル語 |
| ▶ 中国語 | ▶ ドイツ語 | ▶ ギリシャ語 | |
| ▶ 韓国語 | ▶ イタリア語 | ▶ ウェールズ語 | |



重要なポイント

- ▶ LLM を使用した自動ポストエディットにより、多言語コンテンツ配信の大幅な迅速化とコスト削減を実現できます。
- ▶ 既存の翻訳メモリを活用することで、一貫性を確保すると同時に、これまでに行った人間の手による翻訳への投資価値を最大化できます。
- ▶ 特に複雑な言語や専門的なコンテンツでは、品質保証において、人間参加型のワークフローが今後も不可欠となります。
- ▶ スケーラブルな AI 活用型ローカリゼーションにより、組織は品質を犠牲にすることなく、急速な成長とグローバルな展開を実現できます。



「現在では、これまでにないスピードとコストでコンテンツが翻訳されています。自動ポストエディットを導入したことで、これまで予算の制約で不可能だったコンテンツのローカリゼーションも可能になりました」

ヨランダ チャム コエン氏 | Cisco Systems



詳しくはこちら

LIONBRIDGE.COM